

## 問題〇14 院政期の社会と文化②③

01 日本全土の支配者である天皇は建前上、荘園を所有できない。そこで代わりに上皇が膨大な荘園拡大を積極的に進めた。鳥羽上皇が娘の名義で集めた膨大な荘園群を〔 〕という。

02 後白河上皇が持仏堂の名義で集めた膨大な荘園群を〔 〕という。

03 荘園の寄進を受けて経済力をつけた大社寺は、武装した下級の僧である〔 〕を使って朝廷に〔 〕を繰り返した。興福寺を指す〔 〕、延暦寺を指す〔 〕の僧兵は特に強硬であった。

04 桓武平氏のうち、畿内の伊勢、伊賀国に拠点を持つ平正盛、平忠盛、平清盛らは〔 平氏 〕と呼ばれた。

05 1156年の鳥羽院が没した直後、子の後白河天皇と〔 上皇 〕の兄弟が実権をめぐる決着がつかず、武力で〔 〕の乱が起こった。

06 1159年には院近臣の間で争いが起こり、後白河院の寵臣の〔 〕が、〔 源 〕の武力を使って院近臣としてのライバル・信西を倒し、一時政権を握った。しかし、熊野詣から急ぎ帰ってきた平清盛によって敗死した。源義朝も敗走し〔 家臣に殺される 〕源頼朝も捕まって源氏勢力は壊滅した。この乱を〔 〕といい、平氏政権が確立した。

07 平氏は〔 貿易 〕にも力を入れ、摂津の〔 〕を修築して宋の大船も畿内に入れるように整備した。

08 平氏は西日本を中心に家人たちを〔 〕に任命し、主従関係を組織していった。

09 平清盛は武士として初めて公家最高職の〔 〕に就任し、娘の〔 〕を〔 天皇 〕の中宮とし、外戚となった。

10 平清盛の娘の生んだ子は1180年に3歳で〔 〕に即位し、平清盛は天皇の〔 〕となった。

01 平氏一族の高位高官独占に対し、院近臣の藤原成親や僧の俊寛らが〔 〕で陰謀をめぐらせたとして処罰された。平清盛は、陰謀の背後に後白河院がいたとして教怒し、清盛を抑えていた長男の平重盛の早死後に、後白河院を幽閉し、院政を停止した。

### ●院政期の文化

02 白河天皇が創建した法勝寺や堀河天皇が創建した尊勝寺など、『勝』のつく6つの大寺院を〔 〕と総称する。

03 院政期には社寺参詣がさかんで、特に〔 詣 〕で〔 詣 〕が行われた。この参詣の道はユネスコ世界遺産に登録されている。

04 院政期には、『将門記』や『 』などの軍記物語や、インド・中国・日本の1,000余りの説話を集めた『 』が編集された。

05 奥州の〔 〕には、武士団の奥州藤原氏の初代清衡が建立した中尊寺金色堂や、2代基衡が建立した毛越寺が遺されている。

06 時代の転換期の中で、時間の流れを意識した絵巻物がさかんに描かれた。庶民の生活や風俗がよく分かる『 縁起絵巻 』や、平安中期の応天門の変を題材にした『 絵巻 』がある。

07 現在の広島県に相当する〔 国 〕の厳島神社には、平清盛らが奉納した〔 〕とよばれる豪華な装飾経が遺されている。

08 現在の島根県に相当する伯耆国には、絶壁に〔 三仏寺 堂 〕が造られた。

09 院政期には、滑稽さや物まね主体の〔 〕や、農村の田植え神事を起源とする〔 〕などの芸能が、都でも流行した。

10 民間の歌謡では今様がさかんで、即位後の後白河法皇が編集した『 』が今に伝わっている〔 遊ぶ子どもの声を聴くと、わが身が揺さぶられるよう ♪ 〕